育む

施策の日標

市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりを促し、それを支える保健・医療体制を充実させることで健康な 心と身体を育むことができるまちをめざします。

施策の概要

健康上の問題で、日常生活が制限されることなく生活できる期間である「健康寿命」を延伸するための取り組みを 推進します。

施策の目標指標		基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合	%	51.1	現状値を上回る	R12 実績値を 上回る
川口市民の 65 歳健康寿命(男)	年	-	18.12	18.12
川口市民の 65 歳健康寿命(女)	年	-	21.03	21.03

現状と課題

・食生活や運動など生活習慣の改善、疾病の 早期発見・早期治療を行う予防医療が重要 です。また、こころの健康づくりや生きがい づくりも重要です。

- ・晩婚化に伴い、不妊を心配する夫婦や不妊 検査・治療を受ける夫婦が増加していま
- ・生命と健康を支えるため、食品の安全性確 保が求められています。

単位施策の目標

- 市民の健康への関心を高めて自発的な健康づくりと疾病 予防を促します。
- ・こころの健康の維持及び向上を図ります。
- 不妊検査や生殖補助医療に悩む夫婦に対し、情報提供や 相談指導を実施します。
- ・必要に応じて食品等事業者に指導、助言をすることによ り、市内で製造販売される食品の危害防止に努めます。

主な取り組み

- ・市民の健康意識向上のため、健康相談や健康教育などの保健予防活動を実施します。
- ・疾病の早期発見・治療のため、各種健康診査や検診を充実させます。
- ・年代に応じて、こどもから高齢者まで生き生きと暮らせるための働きかけを行います。
- ・若年層のこころの健康に関する早期相談支援を行います。
- ・性や生殖に関する正しい知識の習得と健康管理を支援します。
- ・飲食店等の衛生管理を確認するため、保健所での監視指導を計画的に展開します。

単位施第② 医療体制の 充実

単位施策(1)

保健·予防

活動の推進

- ・救急搬送人員は増加傾向にあり、救急医療 体制はひっ迫している状況です。
- 市民が良質かつ適切な医療を受けられる よう、医療の質と安全が求められていま
- 休日・夜間の医療体制の整備と救急医療体制の負担軽減 を推進することにより、だれもが必要な時に必要とする医 療を受けられるような環境をつくることをめざします。
- ・医療センターにおいては、救命救急センター、周産期セン ター等を設置し、これまで同様に地域の基幹病院として高 度な急性期医療を提供していくことをめざします。
- ・休日や夜間帯の急病に対応するため、日曜・祝日当番医による診療や、川口市こども夜間救急診療所を運営しま
- ・患者やその家族からの医療機関に関する相談対応や、医療機関を対象とした医療安全に関する研修を実施しま す。
- ・医療機関等や薬局等に関する許可・届出及び監視・指導等を行います。
- ・医療センターにおいては、平均在院日数の適正化と新入院患者確保の両立により病床の最大活用とともに、経営 管理体制の下で診療科・部門単位での目標管理を行い、組織的な経営改善の推進を図ります。

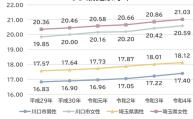
単位施策3 感染症対策の 強化

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大、まん延 により令和4年に感染症法が改正され、 「予防計画」「健康危機対処計画」を策定す ることが定められました。令和6年に策定 した両計画に基づき、人員体制確保や業務 効率化、訓練等による人材育成を推進して いく必要があります。
- ・感染症の予防と拡大防止を図るとともに、患者に対する適 切な医療の提供を図ることにより、市民の健康を守りま
- 毎年、訓練を実施することで、健康危機に対応できる人材 を育成します。
- ・感染症の発生状況を把握し、市民への注意喚起、基本的な感染症対策の周知を行います。
- ・感染発生時には、速やかに調査を行い、感染拡大防止を図ります。
- 新興感染症に備えた訓練を毎年実施します。

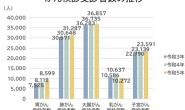
- 特定健康診査・健康診査の受診率は年々増 加傾向にありますが、目標とする受診率達 成は厳しい状況であり、未受診者への効果 的な勧奨が必要です。
- ・疾病の早期発見や予防を促進することで、 医療費の抑制と保険税(料)の収納率向上 による安定的な医療保険制度の運営が求 められています。
- ・受診率向上によって生活習慣病の早期発見・重症化予防 を図り、市民全体の健康水準を引き上げることで、「健康 寿命の延伸」「医療費の適正化」につなげます。
- ・疾病の早期発見や予防を促進することで、医療費を抑制 するとともに、保険税(料)の収納率向上を図ることで、財 源を確保し、安定した医療保険制度の運営をめざします。
- ・受診対象者がスムーズに医療ヘアクセスできるよう、健診医療機関検索サイトを作成し運用します。
- ・未受診者へ受診を勧奨するとともに、勤務先で受けた健診結果や、生活習慣病で定期通院中のかたの保険診療で 実施した検査結果を市へ情報提供してもらうことにより、特定健康診査を受診したとみなすことができる制度を 活用します。

単位施策4 の充実

65 歳健康寿命



がん検診受診者数の推移



関連する個別計画

川口市健康生きがいづくり計画・食育推進計画(第三次) 川口市国民健康保険第3期保健事業実施計画(データヘルス計画) 第4期特定健康診査等実施計画 医療センター経営強化プラン 2024-2027 川口市感染症予防計画 川口市健康危機対処計画(感染症)

高齢者が健やかに暮らし、活躍できるまちづくり













施策の日標

高齢者一人ひとりが、住み慣れた地域で、いかなる心身の状態であっても、尊厳を保ち、安心して幸福に暮らせる 地域社会を構築します。

施策の概要

介護予防や日常生活支援の推進と併せ、生きがいづくりを促進するための事業の充実のほか、認知症への対応の 強化や、医療と介護の連携強化等により、地域包括ケアシステムのさらなる発展をめざします。

施策の目標指標		基準値(R5)	中間目標(R12)	最終目標(R17)
この施策の推進が図られていると感じる人の割合	%	27.5	現状値を上回る	R12 実績値を 上回る
要介護認定を受けている高齢者の割合	%	17.7	R12 推計値を 下回る	R17推計値を 下回る
一般介護予防教室の参加者数(延べ)	人	8,789	13,411	13,508

現状と課題

生活機能評価の結果から、「運動器機能低」 下」と「転倒リスク」「閉じこもり傾向」「うつ 傾向」の強い関連性がみられ、運動器機能 が低下すると、それに伴う新たな健康被害 を生むことが懸念されます。

・早い段階からさまざまな形での介護予防・フ レイル対策を進めることが必要とされます。

単位施策の目標

- ・健康づくりや介護予防の取り組みを推進し、高齢者一人ひ とりができる限り住み慣れた地域で生活を続けることが できるようにします。
- ・高齢者の多様なニーズを踏まえた自立支援、介護予防、重 度化防止に向けたサービスの充実により、心身の機能回復 や日常生活における活動能力を高めることを図ります。

主な取り組み

- ・早期発見・早期対応に向けた取り組みの推進により、高齢者がフレイル状態に陥らないよう予防すること、また既! にフレイル状態にある高齢者の進行を防ぐことをめざします。
- ・多様な主体によるサービスの充実や取り組みを支える体制の整備により、自立支援や重度化防止のより一層の推

単位施策② 生きがいと 安全・安心な 暮らしを支え る施策の充実

単位施策(1)

フレイル対策

介護予防・

の充実

今後一人暮らし高齢者や認知症高齢者を はじめとする高齢者がさらに増加し、地域 の課題が多様化・複雑化していくことを踏 まえると、重層的支援体制整備事業におけ る属性や世代を問わない包括的な相談支 援を推進することが重要です。

・社会参加や交流の場の充実により、高齢者一人ひとりが 生き生きと自分らしく、楽しい生活が続けられることをめ

・本人や家族介護者への支援を充実させることで、認知症 や介護が必要な状態になっても、住み慣れた地域で安心し て暮らし続けることができるような環境整備を図ります。

- ・高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるように、包括的及び継続的な支援を行う地域包括ケアを 推進します。
- 高齢者が趣味やサークル活動を通じて地域社会と交流できる場の拡充や健康長寿を応援する取り組みを推進しま
- ・認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、本人や家族介護者のニーズに合わせた総 合的な認知症施策の推進を図ります。

単位施策③ 介護保険事業 の持続可能性 の確保

・今後、医療・介護の複合的ニーズを有する 高齢者の増加が予測される中、在宅医療・ 介護の連携の強化や、さまざまな介護ニー ズに柔軟に対応できる在宅サービスの推 進とともに、家族介護者が安心して介護が できる支援やサービスの充実が求められて

・一人ひとりの意思を尊重し、一人ひとりの状態に応じた質 の高いサービスが確保されるよう、必要な人材確保をはじ めとする介護サービスの基盤整備をめざします。また、中 長期的な視点に立った整備目標の設定をはじめ、将来に わたって持続可能な介護保険事業運営をめざします。

- ・可能な限り住み慣れた地域で生活を営むことができるよう、地域密着型サービスの整備を進めます。 ・国や県、介護事業者等と連携し、介護人材の確保に資する取り組みの強化を図ります。
- ・給付適正化主要3事業を効果的・効率的に実施することで、介護保険制度の信頼感を高め、持続可能な介護保険 制度の構築を図ります。

単位施策4 在宅医療と 在宅介護の 連携強化

- ・今後医療・介護の複合的ニーズを有する高 齢者の増加が予想される中、住み慣れた地 域で誰もが自分らしい暮らしを続けること ができるよう、在宅医療・介護の連携の強 化、介護ニーズに柔軟に対応できる在宅サ ービスの推進が求められています。
- ・老後の孤独死を防ぎ、人生の終末期を有意 義に過ごすために、終活についての普及啓 発や支援が必要とされています。
- ・在宅医療・介護の相談支援、関係者間の連携を強化、情報 共有の支援を効率的、効果的に行うことで、医療や介護の 双方についてニーズのある高齢者への効果的な在宅支援 を実施します。
- ・老後の孤独死や人生の終末期の不安を解消し、残された 人生を有意義に過ごすため終活支援の普及啓発や支援事 業の導入により、一人ひとりの意思を尊重した生活を実現 します。
- ・専門職の相談支援による在宅医療サポートセンターの利用を促進し、同センターと地域包括支援センターの連携に よる機能強化を行います。
- ・地域包括ケア連絡協議会での課題の抽出、多職種の協働・連携に関する研修の充実を図り、医療・介護の連携を強
- ·ACP(人生会議)に関する講座の開催や、エンディングノートの活用、終活支援事業の導入について検討し、必要な 支援を展開します。

地域包括ケアシステムイメージ図





関連する個別計画

第9期川口市高齢者福祉計画·介護保険事業計画

めざす姿 1 健康で、自分らしく生き生きと暮らせるまち

誰もが役割と生きがいを持てる地域共生社会の

実現

対応する主な SDGsのゴール





甘淮鸠(D5) | 由問日標(D12) | 景級日標(D17)





施策の日標

全ての人が、役割と生きがいを持ち、つながり・支え合いながら安心して暮らし続けられるまちをめざして、地域住 民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築します。

施策の概要

- ・地域住民の地域福祉活動への参加を促す環境整備や、身近な地域での相談体制づくり、関係機関のネットワーク 構築などさまざまな地域生活課題に対応できる支援を包括的に提供できる体制を整備します。
- ・属性や世代、相談内容に関わらず、一元的に相談を受け止める取り組みを推進することにより、市内の相談支援 体制を強化します。

加	東の日標指標		至于厄(八)/		可口派(八)2	, E	रण्डमाऋ(। (
حد	D施策の推進が図られていると感じる人の割合	%	32.4	現	状値を上回	る 〉R	12 実績値を	上回る
①[②] ③]	独感・孤立感」の市民意識調査において 自分には人との付き合いがないと感じる」 「自分は取り残されていると感じる」 「自分は他の人たちから孤立していると感じる」 おける「常にある」の回答割合	%	①13.9 ②3.0 ③3.5	\rangle	前年度 より減少 する	\rangle	前年度 より減少 する	
障 割	害児の保護者が障害者施策に対して満足している 合	%	45.9	\rightarrow	70.0	\rightarrow	80.0	
就	労自立による生活保護廃止世帯数	世帯	95	\rightarrow	111	\rightarrow	111	

現状と課題

単位施策の目標

主な取り組み

プロ挿形挿

単位施第(1) 重層的支援体 制整備事業の 推准

- ・「8050問題」や「ダブルケア」のように、ひ とつの世帯に複数の課題のあるケースや、 「ひきこもり」のような既存の制度の狭間に あるケースなど、これまで行われてきた分 野ごとの支援では対応できないケースが 顕在化しています。
- 分野ごとの支援では対応できない問題に 対し、関係機関が協働して支援を提供する 体制が求められています。
- ・制度、分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係 を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と 人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、市民 一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく 社会の実現を図ります。
- ・誰もがその人らしく、安心して充実した生活ができる環境 整備をめざします。
- ・属性や世代、相談内容に関わらず一元的に相談を受け止める取り組みを推進することにより、市内の相談支援体
- ・既存の各制度では対応できない市民に対し、地域活動団体などの社会資源とのマッチングを行うとともに、社会 資源の拡充を図ります。
- ・自ら支援を求めることができず、支援が必要であるにも関わらず支援が届いていない市民に対し、関係性の構築 をめざした支援を行います。

単位施策② 障害者の意思 と権利を尊重 し、自分らしく 暮らすための 施策の推進

障害者福祉に関わるさまざまな制度改革 が進められていますが、合理的配慮の推進 や障害への理解促進、障害者本位の福祉サ ービスの提供やスポーツ・文化芸術活動な ど社会参加の促進、家族等の介護負担軽 減のための支援、障害児への療育・保育・教 育の充実等、ニーズは多様化しています。

・障害者の権利擁護の充実と共助の取り組みの強化をめざ

- 障害福祉サービス・相談体制等の暮らしを支える基盤、 社会参加、障害児とその家庭への支援、保健・医療体制の 充実を図ります。
- ・障害者にとって安全・安心のまちづくりを推進します。
- ・障害者と家族の高齢化への対応として、グループホームや短期入所施設の充実等を図ります。
- ・障害者の地域生活支援として、相談支援体制の充実等を図ります。
- ・障害者の雇用・就労支援として、一般就労への支援や福祉的就労の場の充実等を図ります。
- ・「川口市障害のあるなしに関わらず共に学び成長する子ども条例」に基づく取り組みを進めます。

単位施策③ 牛活困窮狀態 からの早期自 立に向けた体 制の整備

・疾病等の明確な就労阻害要因がないにも かかわらず、就労意欲に乏しく、生活保護 受給期間が長期化している受給者に対し、 いかに就労意欲を喚起し就労開始に導け るかが課題です。

・稼働能力を有する生活保護受給者に対し、ケースワーカー の就労指導を通じて福祉・就労支援連携事業及び被保護 者就労支援事業につなげることで、就労自立による生活 保護からの脱却によって生活困窮状態からの早期自立を めざします。

- 福祉・就労支援連携事業として、埼玉労働局との協定に基づき福祉事務所内に常設窓口を設置し、生活保護の申 請者・受給者を対象に職業相談・職業紹介、就労支援セミナーを開催します。
- 被保護者就労支援事業として、一般就労に向けて一定の個別支援が必要な被保護者に対し、公共職業安定所や協 力企業を始め、就労支援に関するさまざまな社会資源と連携を図りつつ、簡易な就労意欲喚起や、その状況に応 じた能力開発、職業訓練、就職支援等を行います。

単位施策4 環境衛生の 充実

- 墓地の承継者がいない人でも安心して利 用できる合葬式墓地など、新しい墓地形態 のニーズが増加しています。
- ・犬の登録数に対する狂犬病予防接種率が 低く、狂犬病発生の際に狂犬病が流行する ことが懸念されます。
- ・お墓に関する不安や負担感が解消され、誰もが安心して暮 らし続けることができる状態をめざします。
- 犬の狂犬病予防注射接種率を向上させることにより、犬の 狂犬病のまん延を防止し、狂犬病が犬から人に感染する恐 れのない社会をめざします。
- ・老朽化した市営霊園の施設を建て替え、園内のバリアフリー化を進めるとともに、新たに合葬式墓地を設け、市民 が安心・快適に利用できる、市民のニーズを踏まえた施設を整備します。
- ・狂犬病予防注射の必要性の周知に努めるとともに、注射済票交付手続きの利便性向上のため、オンライン手続き を実施します。

重層的支援体制整備事業の全体像



諸概念の整理

tmms 地域共生社会の事務 (お会話を決策を新聞) 利度・分等ことの「検索り」や「支え手」「受け手」という開係を超えて市域仕費や市域の多様な主体が多額。人と人、人と資源が性代や分野を超えてつながることで、住民一人のとりの暮らしと生きかい、共成を非に向いていくける。 中位概念 包括的な支援体制の整備(社会報送法第106条の3) 機能をした物域生活課題の確認のための対応的な支援体制 地域包括ケアシステム(約減医療介護資保法第2条) - 直線者の支援を目的とした 総合的なサービスを地域で提供する仕組み一 具体的事業 重層的支援体制整備事業 (社会福祉法院106年の4) 機能化した地域生活調整の ・腐性を削りない拒執支援

関連する個別計画

川口市地域共生社会推進計画 第9期川口市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 川口市障害者福祉計画 第2期川口市子ども・子育て支援事業計画

川口市成年後見制度利用促進計画

川口市再犯防止推進計画